

I 鳥取県の住みやすさについて

問1 あなたは、鳥取県に対して愛着や誇りを感じていますか。(〇は1つ)

～鳥取県に対しての愛着や誇りを感じている人が約7割～

鳥取県に対する愛着や誇りは、「感じている」が44.4%、「少し感じている」が24.9%と、愛着や誇りを感じている人が69.3%となっている。一方、「あまり感じていない」が3.1%、「感じていない」が1.9%で、愛着や誇りを感じていない人は5.0%と1割に満たない。

平成28年度-令和5年度を比較してみると、「感じている」「少し感じている」の合計は28年度が約8割と最も割合が高く、令和3年度以降は減少傾向となり、令和5年度は前年度より2.5ポイント減少している。

年代別でみると、愛着や誇りを「感じている」「少し感じている」を合わせた割合は、50歳以上が高く、30歳代が最も低くなっている。

性・年代別でみると、「感じている」「少し感じている」を合わせた割合は、男性は50歳以上が高く、女性では20歳代と50～60歳代が高くなっている。

地域別でみると、「感じている」「少し感じている」を合わせた割合は、西部地区が他の地域に比べて高くなっている。

図1.鳥取県に対して愛着や誇りを感じているか(n=1,706)

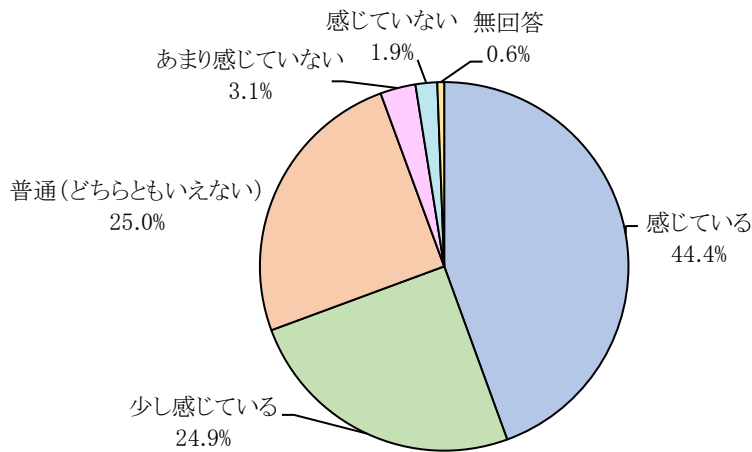


図2 鳥取県に対しての愛着や誇りについて

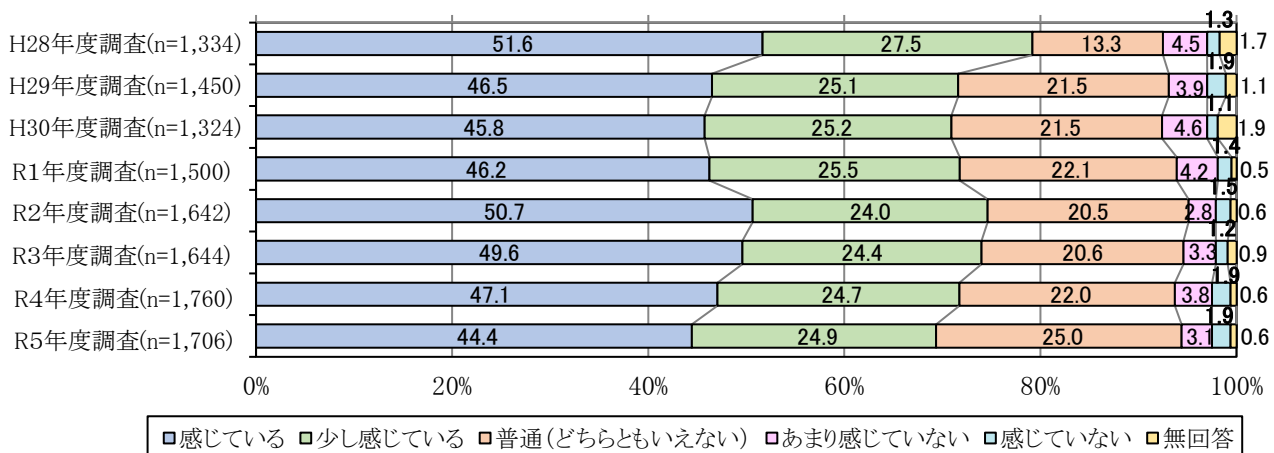
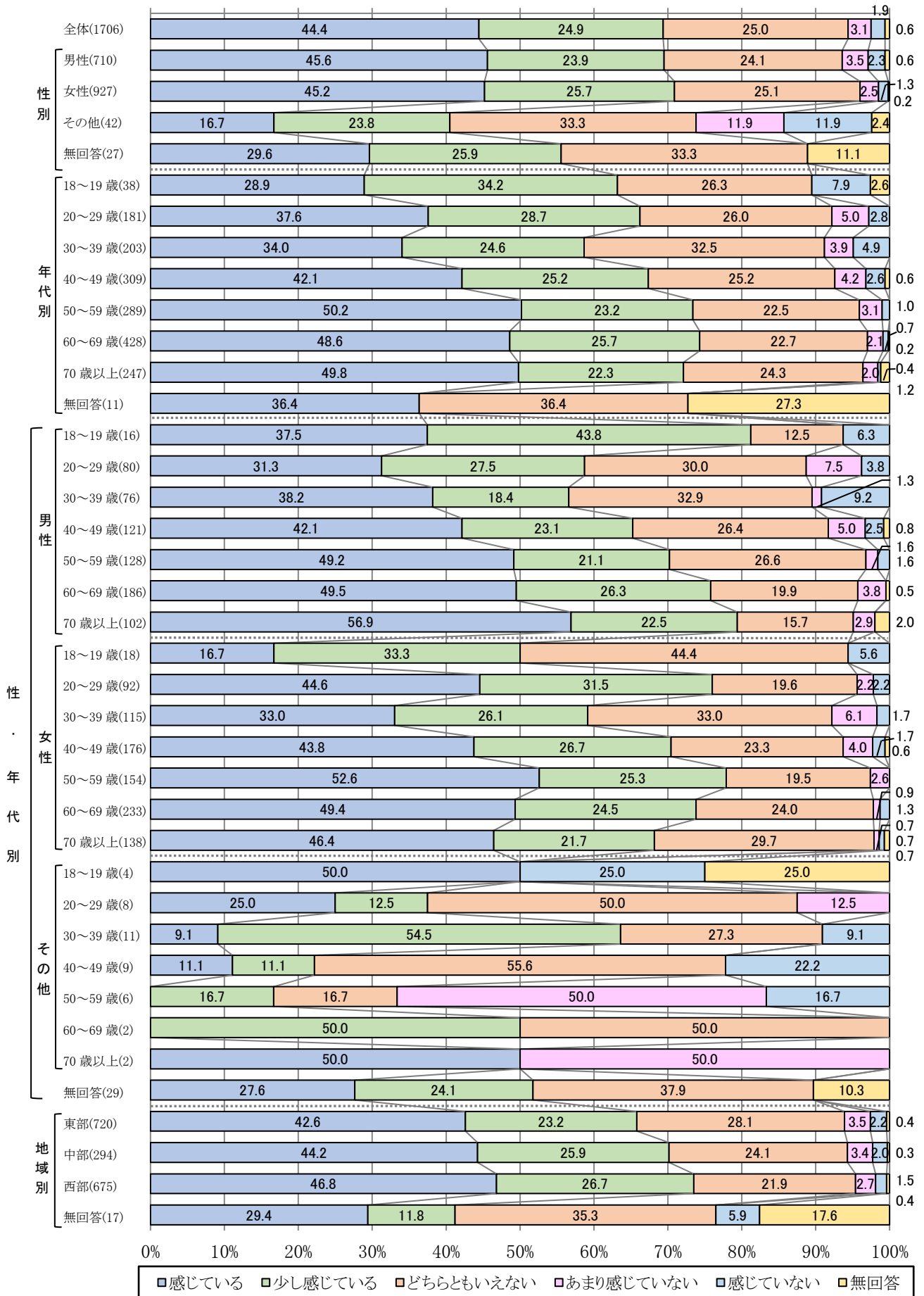


図3 鳥取県に対して愛着や誇りを感じているか(性別・年代別・地域別)



問2 あなたが、今暮らしている地域の住みやすさを教えてください。(〇は1つ)

～「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせると約6割の人が住みやすいと回答～

今暮らしている地域の住みやすさは、「とても住みやすい」が19.8%、「どちらかという住みやすい」が42.6%で、住みやすいと答えている人が合わせて62.4%となっている。

一方、「どちらかという住みにくい」が8.1%、「住みにくい」が2.2%で、住みにくいと答えている人は合わせて10.3%となっている。

平成28年度-令和5年度を比較してみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」の合計は、28年度の74.9%が最も割合が高く、29年度以降は令和2年度を除き減少傾向となっている。

年代別でみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせた割合は、50歳以上で高くなっている。

性・年代別でみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせた割合は、男性は50歳代、70歳以上で高く、女性は50歳代が高くなっている。

地域別でみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせた割合は、西部地区が他の地域に比べ高くなっている。

図4 今暮らしている地域の住みやすさ(n=1,706)

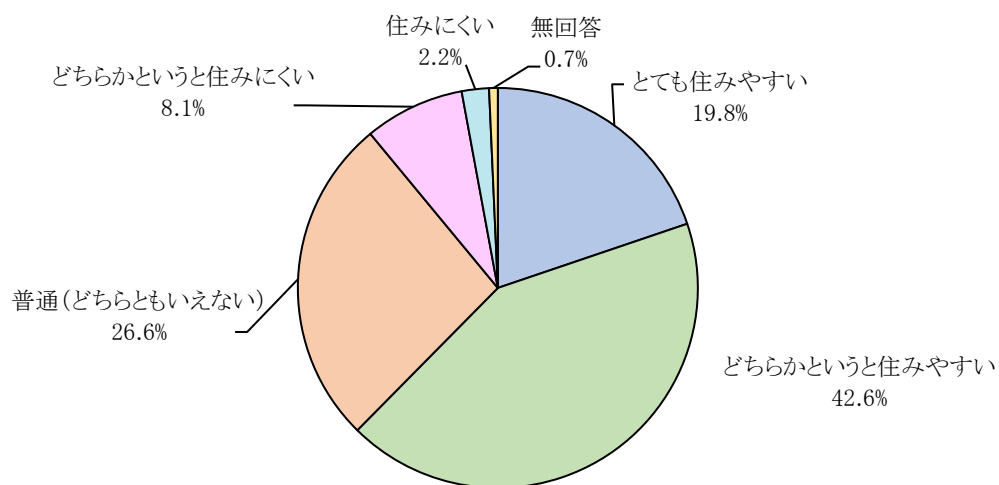


図5 今暮らしている地域の住みやすさ(年次比較)

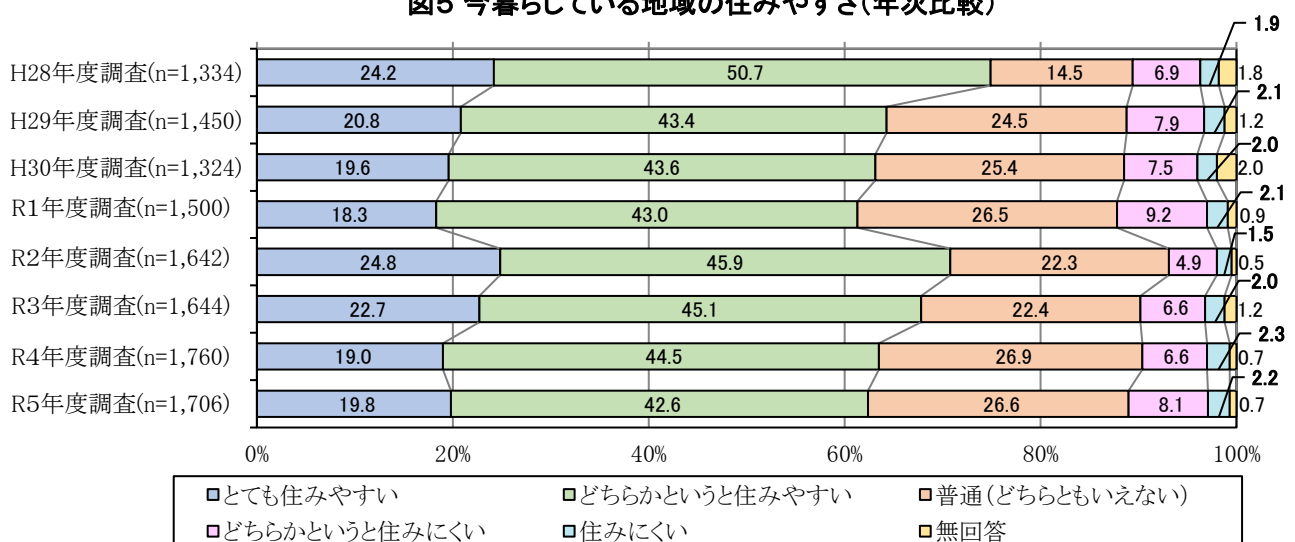
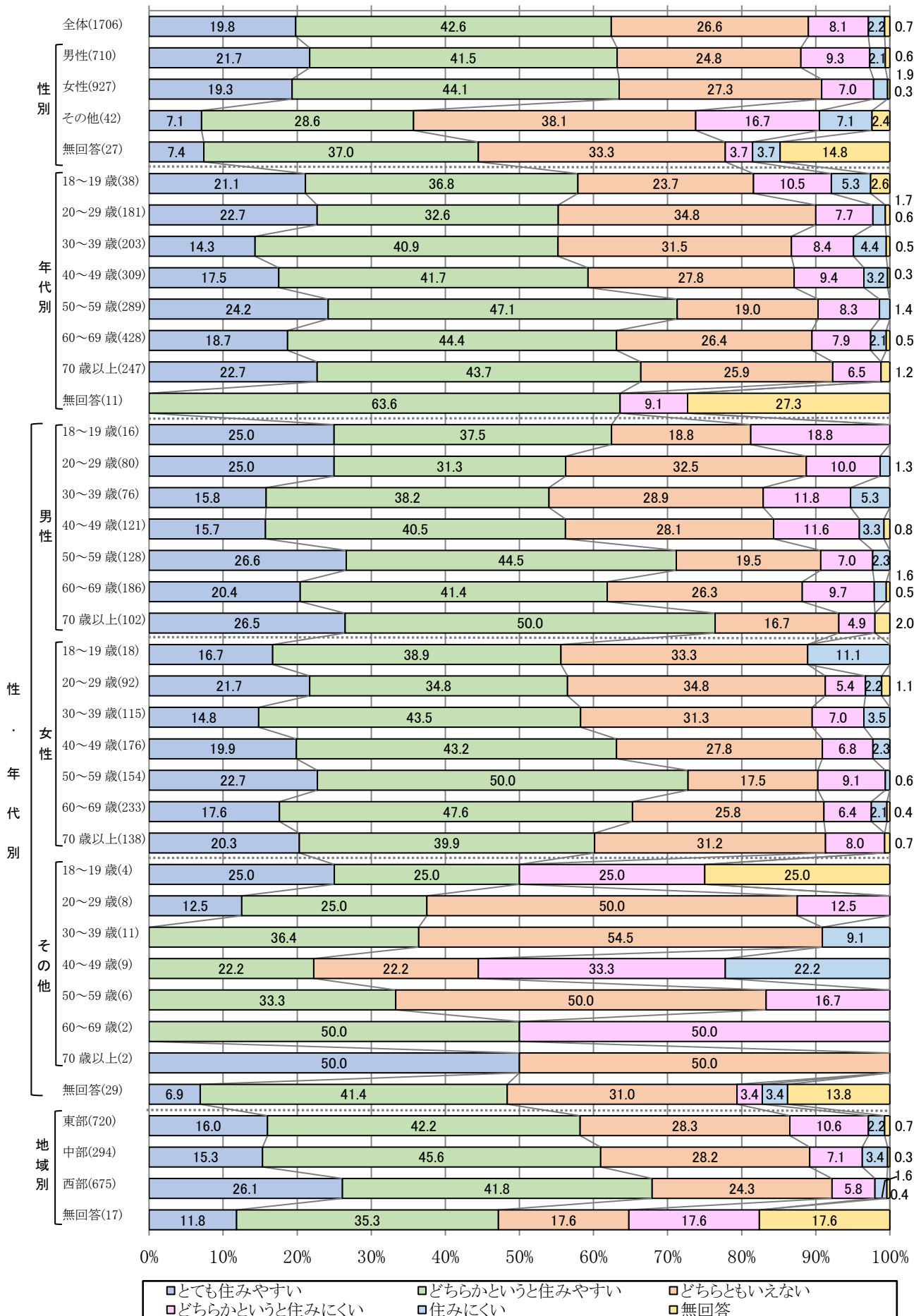


図6 今暮らしている地域の住みやすさ(性別・年代・地域別)



**問3 鳥取県に暮らしていて、次の項目(設問)についてどう思われますか。
項目ごとにいずれかに○を記入してください。**

～「豊かな自然環境に恵まれている」と思う人が約9割～

鳥取県に暮らしていてよく感じる(そう思う)項目は、上位項目では「豊かな自然環境に恵まれている」が88.7%と最も割合が高く、次いで「地域の治安が良いと感じている」が65.7%、「住んでいる住民(県民)が親切である」が54.6%、「地域での人と人とのつながりがある」が49.9%と続き、自然環境、治安、人とのつながりを鳥取県に暮らす良い面として答えている。

一方、鳥取県に暮らしていて良いと感じない(そう思わない)項目は、上位項目では「生活するにあたり、公共交通機関が整っている」が57.7%で最も割合が高く、次いで「子どもの教育環境が充実している」が15.7%、「地域の防災組織が整っている」が15.2%と続いている。

平成28年度-令和5年度を比較してみると、「豊かな自然環境に恵まれている」は、よく感じる(そう思う)との回答が全ての年度で約9割、「住んでいる住民(県民)が親切である」は概ね5割台、「地域の治安が良いと感じている」は全ての年度で6割台となっている。

また、令和5年度は前年度に比べ「生活するにあたり、公共交通機関が整っている」は2ポイント増加している。

図7 鳥取県の暮らしについて(n=1,706)

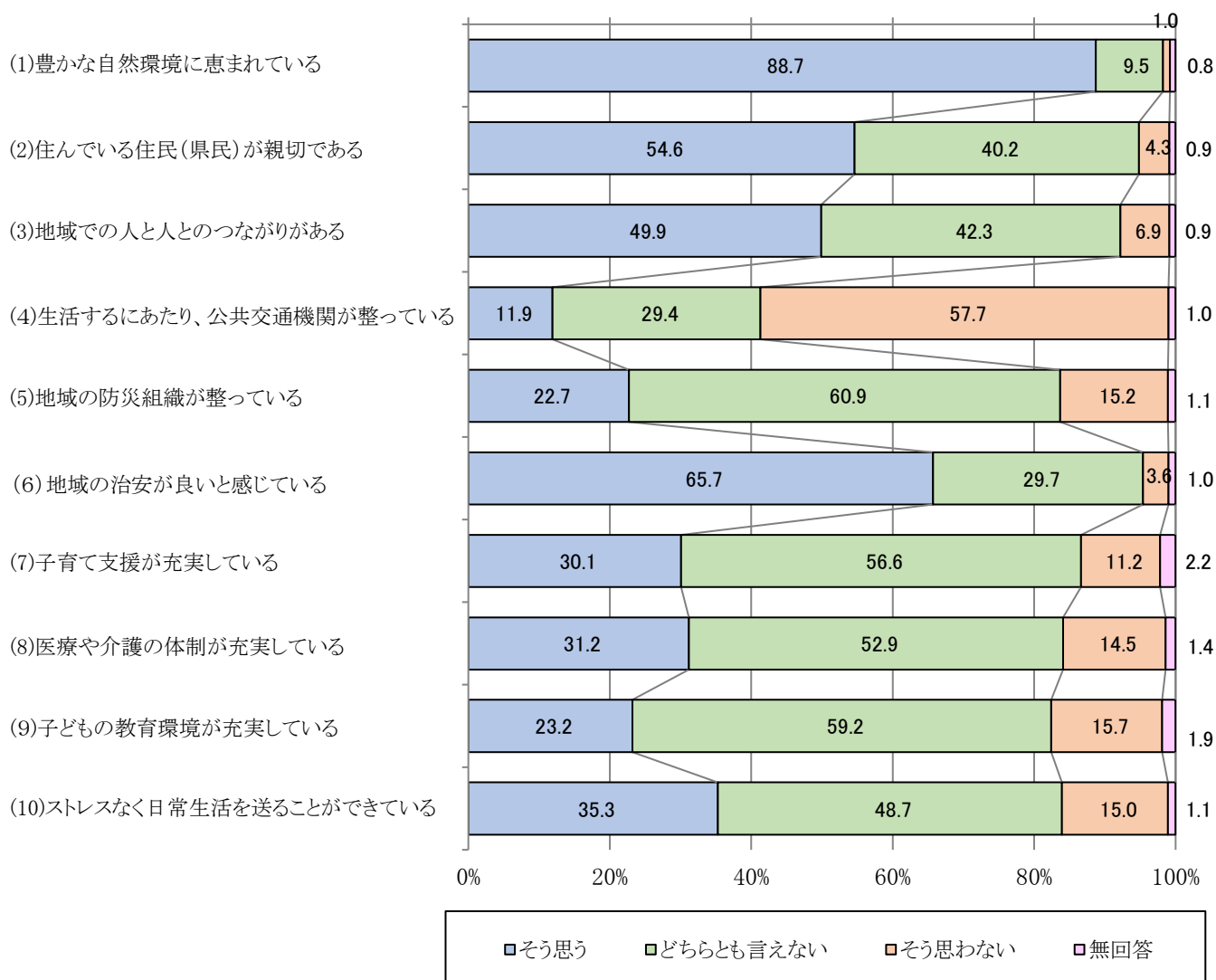
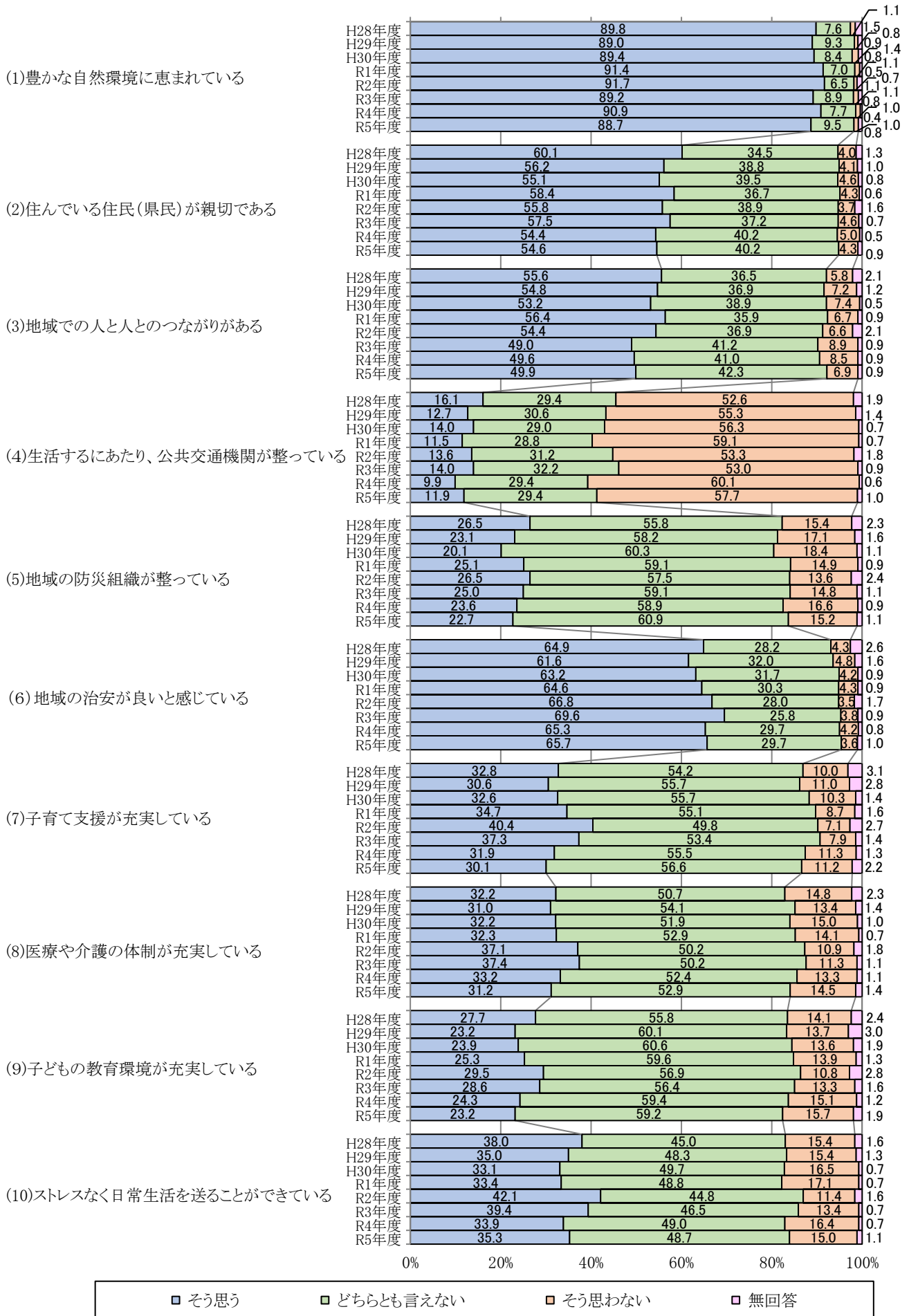


図8 鳥取県の暮らしについて(年次比較)



問4 鳥取県に暮らしていて、あなたは今の程度「幸せ」ですか。

～5点「普通」から10点「とても幸せ」が約9割～

幸福度について10点満点で質問したところ、5点「普通」が28.0%と最も割合が高く、8点が19.9%、7点が19.1%、6点が12.1%と続き、5点「普通」以上と回答した割合は90.4%となっている。
 性・年代別でみると、幸福度5点以上は男性の50歳以上、全年代の女性で9割以上を占めている。一方、男性の40歳以上は他の年代と比べて低くなっている。

図9 鳥取県に暮らしていて、あなたは今の程度「幸せ」ですか(年次比較)

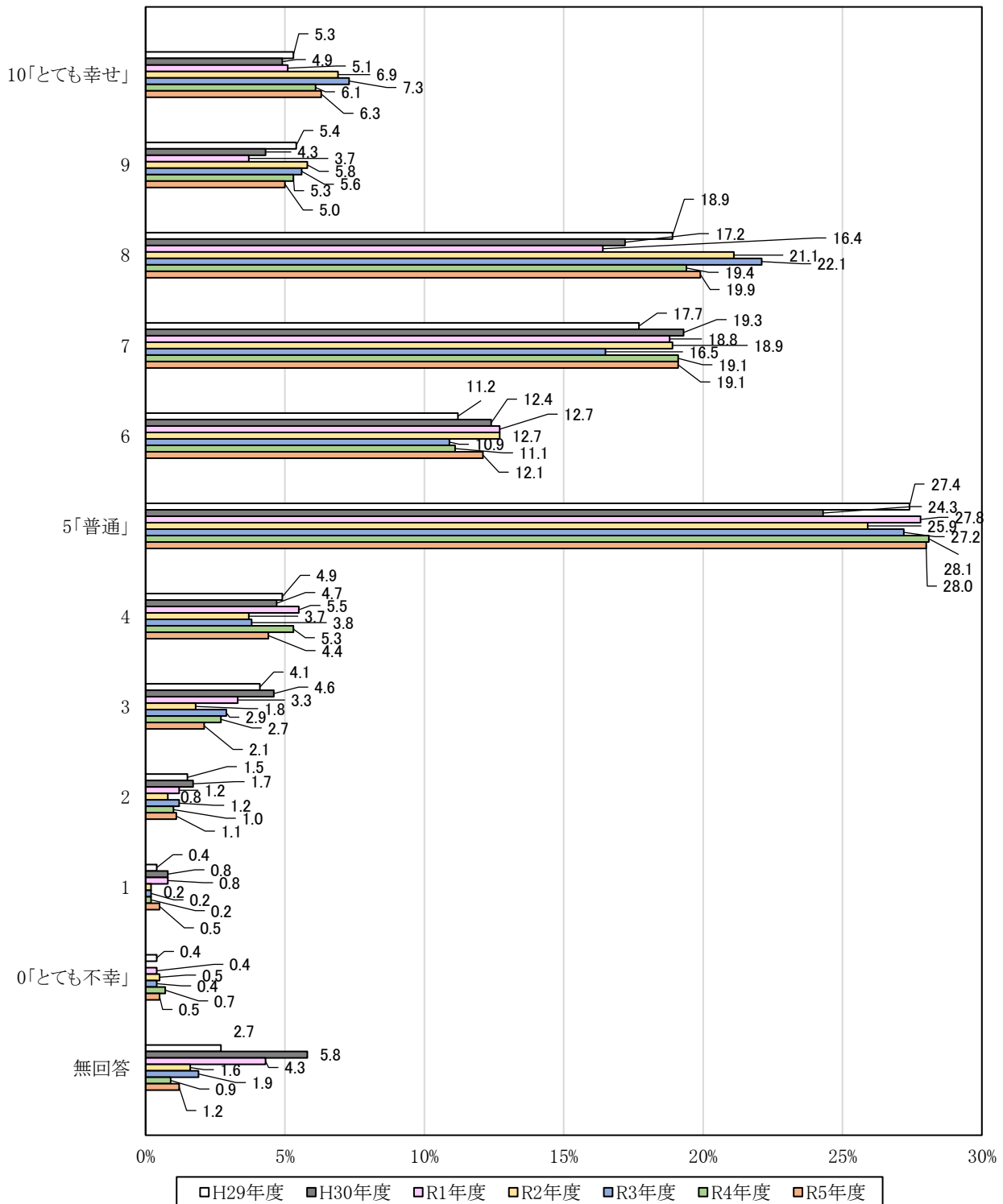
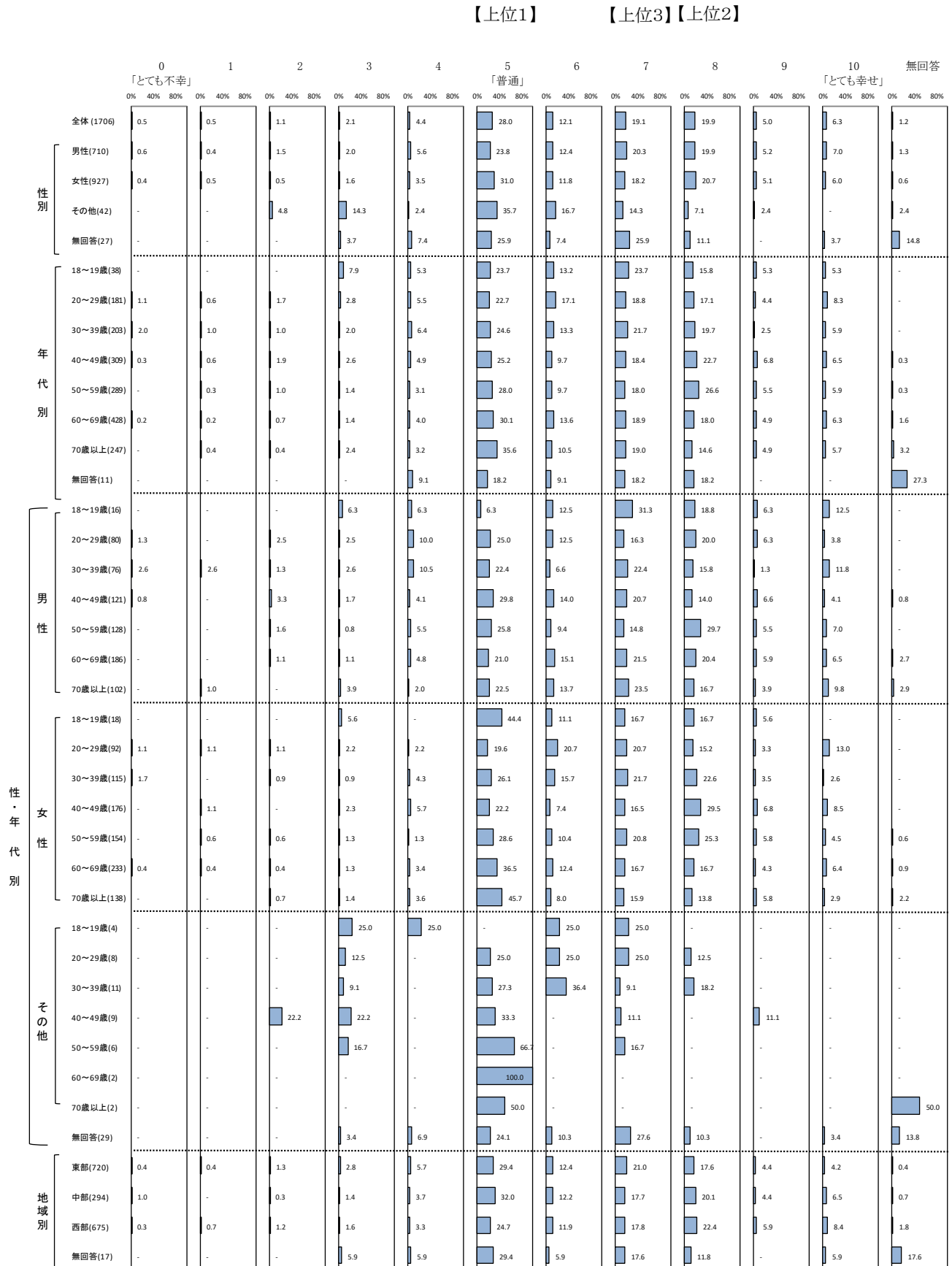


図 10 鳥取県に暮らしていて、「幸せ」ですか(性別・年代別・地域別)



問5 あなたの「幸福度」を判断するときに、あなたが重視することは何ですか。(〇はいくつでも)

～「家計の状況」「自身の健康の状況」「家族関係」を重視～

幸福度を判断するときに重視することは、「家計の状況」が68.7%と最も割合が高く、次いで「自身の健康の状況」が65.6%、「家族関係」が57.7%、「精神的なゆとり」が57.2%となっている。

平成29年度-令和5年度を比較してみると、上位3項目は常に「自身の健康の状況」、「家計の状況」、「家族関係」となっている。

年代別でみると、「家計の状況」は30～40歳代、「自身の健康の状況」は60歳以上、「家族関係」は30～60歳代で高く、また、「精神的なゆとり」は40歳代以下、「自由な時間(充実した余暇)」「趣味などのいきがい」は30歳代以下で高くなっている。

図11 「幸福度」の判断で重視することは(年次比較)

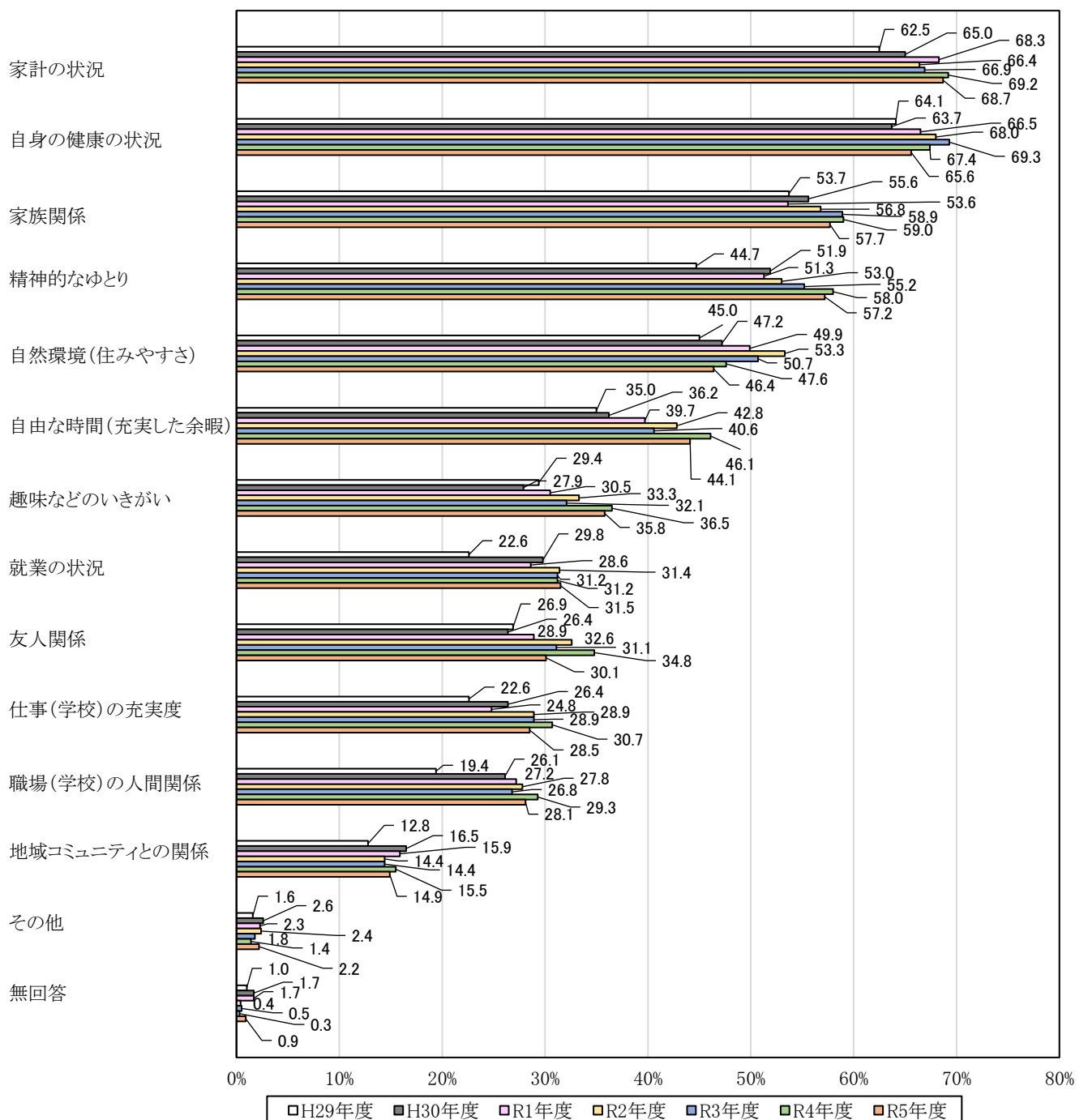


図12 「幸福度」の判断で重視すること(性別・年代別・地域別)

【上位1】【上位2】【上位3】

